

湯本駅周辺のまちづくりに関する市民説明会 議事要旨

■ 日時

令和8年7月1日（水）18:30～20:15

■ 場所

常磐公民館 第2会議室

■ 次第

I. 開会

II. 出席者紹介

III. 挨拶（いわき市 都市建設部 都市計画課長）

IV. 基本計画の概要及び事業の進捗状況について

資料Ⅰ

1. 基本計画の概要

2. 湯本駅周辺土地地区画整理事業

3. （仮称）常磐地区交流拠点施設整備事業

4. 御幸山公園・湯本駅前緑地整備事業

5. まちなみ景観づくりの取組み

6. コンテンツ創造に向けた取組み

7. 事業全体のスケジュール

V. 福島県における都市計画道路白鳥藤原線（県道常磐勿来線・いわき石川線）の整備について

資料2

VI. 質疑応答

VII. 閉会

■ 質疑応答の概要（要旨） ○：参加者 ⇒：事務局

- 湯本駅前・御幸山・温泉街の拠点性を高め、回遊性を高めるとある。湯本にずっと住んでいるが、高齢化も伴って観光客や地元の人が御幸山の階段を上っていくのは、考えづらいと思う。市はどう考えているのか。
- ⇒ 現状の階段はかなり急であるため、上りやすい形状への整備を検討していく。
しかし、御幸山公園は山という素材の中にある公園であるため整備したとしても、傾斜はあると思うが、現状よりも上りやすい階段の整備を検討していきたい。（市）
- お金の使い方について、天王崎団地の埋設物撤去・整地工事は、杭基礎を撤去するという工事であったかと思うが、令和2年から4年にかけて天王崎団地の取壊し工事が2億6千万円かけて行われていたのに、何故その時に全て撤去しなかったのか。この時点では再開発も計画されていたと思うが、今回新たに1千9百万円をかけて工事を行っているが、計画として費用の使い方が杜撰ではないのか。
- ⇒ 杭の件ですが、お話しがありましたとおり、令和2年から4年に市営住宅を解体するにあたり、概ね杭を撤去しておりますが、今回の工事においては、前回工事で撤去することができなかった杭について、前回とは異なる工法で工事を発注している。（市）
- 前回と同じ業者が入札に参加しているが技術がなかった訳ではないのか。
- ⇒ 一般競争入札であるため、参加資格を満たしていれば、誰でも参加できるものである。また、前回の工法では撤去できなかった杭を、工法を変えて発注しているため技術力の問題ではない。（市）
- もう1点、第一部の説明会において座れない市民が出たぐらい、多くの方が参加されていた。それだけ色々思うことがある市民が多いと思う。それに関わらず、市外や県外のコンサルに業務委託して実施するワークショップでは1千万とか2千万の費用をかけて、旅館の宴会場を借りて開催しているのは非対称性が際立つと思う。一昨年の暮れから年明けにかけて開催されたコンテンツ創造のワークショップは会場にも参加していた方が多くいると思うが、ワークショップの成果として、参加した我々としては、あれは一体何だったのかと目が点になる。さらに今年度も開催を予定されていて、2千万の予算が計上されているが、実際に事業をやりたい方に補助金や助成金を支援した方がよほど市民は盛り上げるのではないかと思う。費用の使い方と計画の雑さについて何か思うことはないのか。
- ⇒ ワークショップの市外県外の業者という話があったが、プロポーザル方式の入札などで業者を選定している。過年度に実施したコンテンツ創造ワークショップの目的については、新しいコンテンツを創造してくためにはどういう手順・手法で行っていくかという勉強会の意味合いが強いものであると考えている。実際に参加された方が手法を学んで自分でコンテンツを立ち上げて、新たなものをやってみようかなというような動きに繋がっているため、そういった成果がある事業であると考えている。（市）

○ 県道の道路改良事業では、道路改良後の駅前交差点から駅に向かう道の写真が掲載されているが、片側3mの道になるということか。また、駅から出る交差点には、新たに信号は設置されるのか。

⇒ 県道の整備について、写真はイメージであり、湯本駅前の車道は3mでこの幅員と同様に常磐勿来線も整備される。

これから整備する予定の道路は現在、車道が計画より広いため、そちらを活かしながら歩道を広げる整備を進めていく。(県)

駅前から県道へ接続する箇所については、昨年度警察と協議を行い、信号を設置する予定である。(市)

○ 日本三古泉である湯本温泉だが、道後温泉や銀山温泉に行った際に駅から降りて、温泉町だなと実感した。日本三古泉を活かすためには、駅前から降りて鉄筋コンクリートの建物を見たら、ようこそ湯本温泉へという感じにならないのではないかと。建物はガラスや鉄筋よりは、木造の「さはこの湯」のような建物のイメージはどうか。

日本三古泉と言っているのでもっともっと泉質も併せてアピールしていく必要があると思う。

⇒ イメージパースについては、構造も含めてまだ確定しているものではない。頂いたお話しのとおり湯本温泉というポテンシャルを引き出す設計となるよう、ご意見を踏まえながら検討していく。(市)

○ 前回の説明会の際に立体駐車場から交流拠点施設(支所)へ行く際に県道を横断するのは危険ではないかと意見した。その際には、市の公用車が一番町の道路から直進できて交流拠点施設に止められると回答を得た。立体駐車場へ入るのに右折左折があり、イベント時には混雑してしまうのではないかと。交通事故も考えられるのではないかと。

⇒ 交流拠点エリアに公用車を停めることについては、前回の説明会においても説明していない。公用車についても立体駐車場へ停めるようになる。

立体駐車場から交流拠点施設へ向かう交通対策においては、第一部でも歩道橋を設けた方がよいのではないかとという意見もあったので、そちらも踏まえて改めて庁内で検討をしていく。

現在、検討しているのは立体駐車場にエレベーターを設けて、エレベーターを交差点に近い方に設置し、横断歩道へ行ける導線にしたいと考えているが、頂いた意見も踏まえ、検討していく。(市)

○ 今の質問の続きとなってしまうが、立体駐車場から御幸山へ直接アプローチをするという予定はあるか。

⇒ 現在のところ、予定はない。(市)

○ コンテンツ創造の取組みの説明で「観光客の増加が見込まれることから」と断言しているが根拠はあるのか。

⇒ 観光客の増加については確証がないが、資料の記載では断言していると捉えられても致し方

ない。しかしながら、説明のとおり、当該事業は観光客の増加を目指してやっていくということとで御理解を願いたい。(市)

- 湯本地区の「にぎわい」というが現状人口減少が進む中においては、人口減少の実情を踏まえ、担当する部署と共に検討を行うべきではないか。

⇒ 貴重なご意見と受け止め、検討を行う。(市)

- この計画が始まったときに色々な思いがあって作成されたものだと思うが、気候変動や物価上昇もあり、予算が膨らんでいったときにどのように対応していくのか。

また、湯本駅前には支援学校のバスが朝来るが、そういった弱者への対応や、立体駐車場から小さい子を連れて駅前のバス停まで行くのかとか、汗をかくお風呂から出て涼みたいのに公共の場所で休んでくださいというのは、計画としてどうなのか。

いろんなことを当時考えていたのは分かるが、もう少し今の状況を踏まえて計画を見直した方がよいのではないか。

- ⇒ 現在の物価変動を踏まえ、当初の計画通りにできるかと言われると、確定的なことは言えない。出来る限り予算を圧縮するなど工夫を行い、より良いものにするよう事業を進めていく。

(市)

- また、説明会の会場へ歩いてくるだけでも、小学校が近くにあるのに関わらず、木の枝が飛び出しているような危険な場所があるため、まずはそのようなところから対応して頂きたい。

⇒ その点も含めて調整し、対応していく。

市全体で多くの要望がある中で、我々職員も、いわき市全体の中での、観光拠点としての常磐地区を重要と捉え、様々な部署の多くの人と予算をかけて、覚悟を持って整備を進めている。住民の皆様においても、当該事業についてご理解頂きたい。(市)